

電動乗用ラジコン

ランボルギーニ ウルス

取扱説明書



乗用出来る年齢基準

運転操作 3 - 8 歳

AIJYU TOYS スマホで読取り

電動乗用ラジコン

ランボルギーニウルス【0923】の

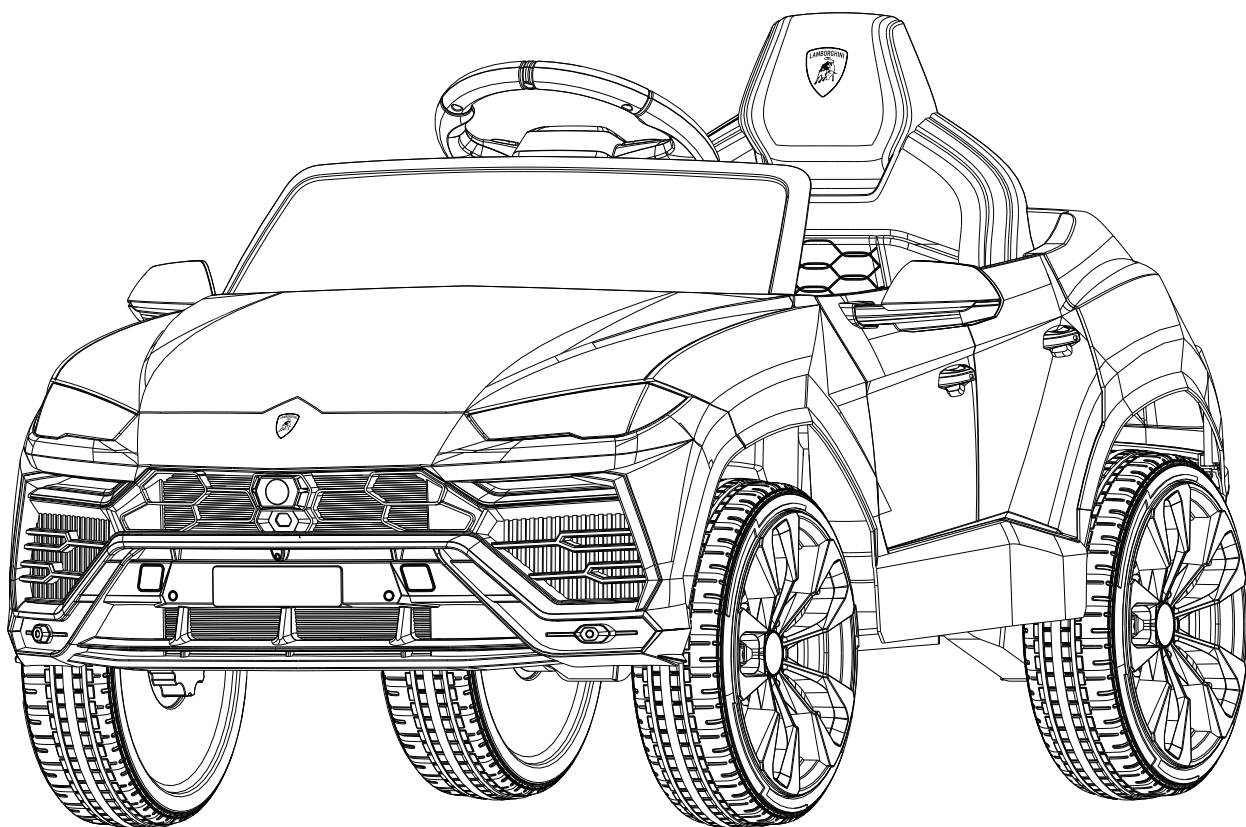
組立て動画はコチラ →

・ Check the assembly Movie!

・ 組装视频!

● PC の方は以下にアクセス下さい。

<https://aijyu-support.tank.jp/rc-bdm0923/>



⚠ 注意 (ちゅうい) 必ずお守りください。

- 公園や敷地内など、公道以外の安全な場所でご使用ください。また、安全のために必ず大人の方が付き添い、いつでも危険を回避できるような場所にいてください。
- 必ず大人の方が組み立ててください。また組み立て中はお子様を近づけないようにしてください。小さな小部品があり、誤飲・窒息の危険があり、大変危険です。
- 大切な情報が含まれていますので、取扱説明書は大切に保管してください。



くちにいけない



みずにもらさない



ひにちかづけない



まきつけない



おとなといっしょ

本製品はISO 9001:2008品質管理マネジメントシステムを取得した工場にて製造しております。

また、中国国家標準であるGB6675 GB19865の玩具安全基準の適用を受けています。

本製品は Automobili Lamborghini S.p.A. より商標ライセンスを取得しています。



Manual:2511LMU923

1.仕 様

商品名		電動乗用ラジコン ランボルギーニ ウルス [BDM0923]
ライセンス		ランボルギーニ
対象年齢		3～8歳
体重制限		約30kg
乗車人数		お子様1人まで
車体寸法	全長	約105cm
	全幅	約65cm
	全高	約52cm
車体重量		約13.5kg
バッテリー		12V7Ah
充電時間		約6～8時間
満充電時の走行時間		約1時間 ※ご使用状況で変わります。
モーター		モーター×2
駆動輪		後輪駆動(2WD)
走行速度		約3～5km/h ※ご使用状況で変わります。
コントローラー電源		単四電池×2本(別売り)
コントローラー通信範囲		約5メートル
使用温度範囲		0～40℃
製造国		中国

2. ご使用上の注意

■ご使用いただく上で、大切な内容が記載されています。よくお読みいただき、正しくご使用下さい。



- ・ご使用の際には、必ず大人の方が付き添い、安全を確認して下さい。
- ・公道での走行は絶対にしないで下さい。
- ・乗車するお子様には、必ずヘルメットを着用し安全な服装で乗車させてください。
- ・本書の内容をよく理解してから、ご使用して下さい。

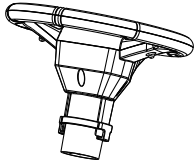
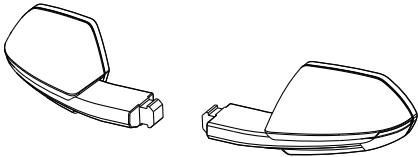
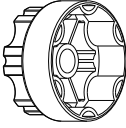
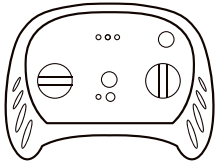
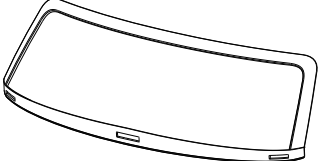
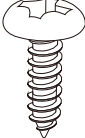
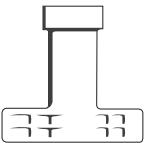
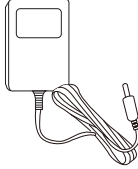
01. ご使用中は必ず大人の方が付き添っていただき、安全を確認して下さい。
02. 事故を防ぐために、お子様を乗車させる前に周りが安全か確認をしてからお乗せ下さい。
03. 乗車するお子様にはヘルメットの着用をさせて下さい。
04. 乗車するお子様には走行時に駆動部に巻き込まれないような安全な服を着用させて下さい。
05. 乗車するお子様にはシートベルトを締めていただき、立ち上がったりにしないで下さい。
06. 走行中にお子様タイヤやタイヤ付近を触れないように注意して下さい。
07. 道路の近くや歩道でのご使用は大変危険なので絶対にしないで下さい。
08. 落下の危険性のある場所、水辺付近ではご使用しないで下さい。
09. 雨天時や路面が濡れている場所、10度以上の勾配のある坂道のご使用はしないで下さい。
10. アスファルトやコンクリートなど路面が滑らかな場所でご使用下さい。
11. 夜間など暗い場所でのご使用はしないで下さい。
12. 前進から後退へ走行を切り替える際に、完全に停止させてから切り替えて下さい。
13. 充電の操作はお子様にさせないようにして下さい。必ず大人の方が行って下さい。
14. ご乗車の際には荷重及び年齢制限を守っていただき正しくご使用下さい。
15. 電子回路を改造したり、別の電子部品を取付けたりすることはしないで下さい。
16. 大人の方はお子様に安全に乗る手順をよく指導してから乗車させて下さい。
17. 破損を発見したら、すぐに使用を止めて下さい。
18. 定期的に車体の電気配線に問題が無い点検して下さい。
19. ご使用後は、必ず電源を切して下さい。
20. 他にも本書には重要な注意事項が記載されています。よくお読み頂いて正しくご使用下さい。

ダンボール 保管のお願い

大型商品の為、運送事故や初期不良が出た場合郵送する場合は梱包が必要となります。
また、メーカーより梱包用ダンボールを希望する場合はダンボール代及び郵送料が必要となります。(3,000円代引き手数料込)

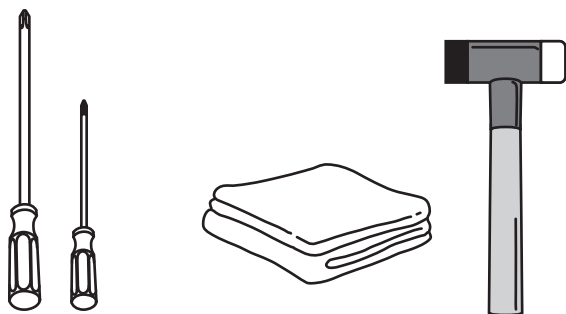
3. パーツリスト

- 販売店により、すでに組付けされている場合が御座います。
- パーツに不足等ありましたら、お手数になりますがご購入店舗にご連絡を下さい。

NO.	数量	画像	NO.	数量	画像
①	1	 A. ハンドル	②	1	 B. 取扱説明書
③	2 左右有	 C. ミラー	④	2	 D. 後輪取付けパーツ
⑤	1	 E. リモコン	⑥	1	 F. フロントシールド
⑦	4	 G. タイヤ	⑧	4	 H. ホイールカバー
⑨	1	 I. シート	⑩	2	 X. ネジ ※車体のシート 取付け穴につい ている場合があ ります。
⑪	2	 L. タイヤレンチ	⑪	1	 T. 充電器

4. 組み立て手順(1)

4-1. 作業をおこなうにあたって



- ①長いプラスドライバー ③タオル ④トンカチ
②細いプラスドライバー

- 本商品の組み立てには、
 - ①長いプラスドライバー ③タオル
 - ②細いプラスドライバー ④トンカチ
- ※必ず必要とは限りませんが、あると便利です。
- 組み立て時は細かいネジ類も御座いますので、お子様の誤飲およびイタズラを防ぐため、お子様のいない場所で組み立てを行ってください。
- 組み立て作業には、一人では作業が困難な部分が御座います。そのため男性の方を含めて大人2人で作業をされますようお願い致します。



ご注意!

組み立ての間違い、作業中の破損に関しては、保証対象外となります。ご注意ください。
組み立てにご不安な方は、日常的に工具をご利用されている方にご依頼をして下さい。

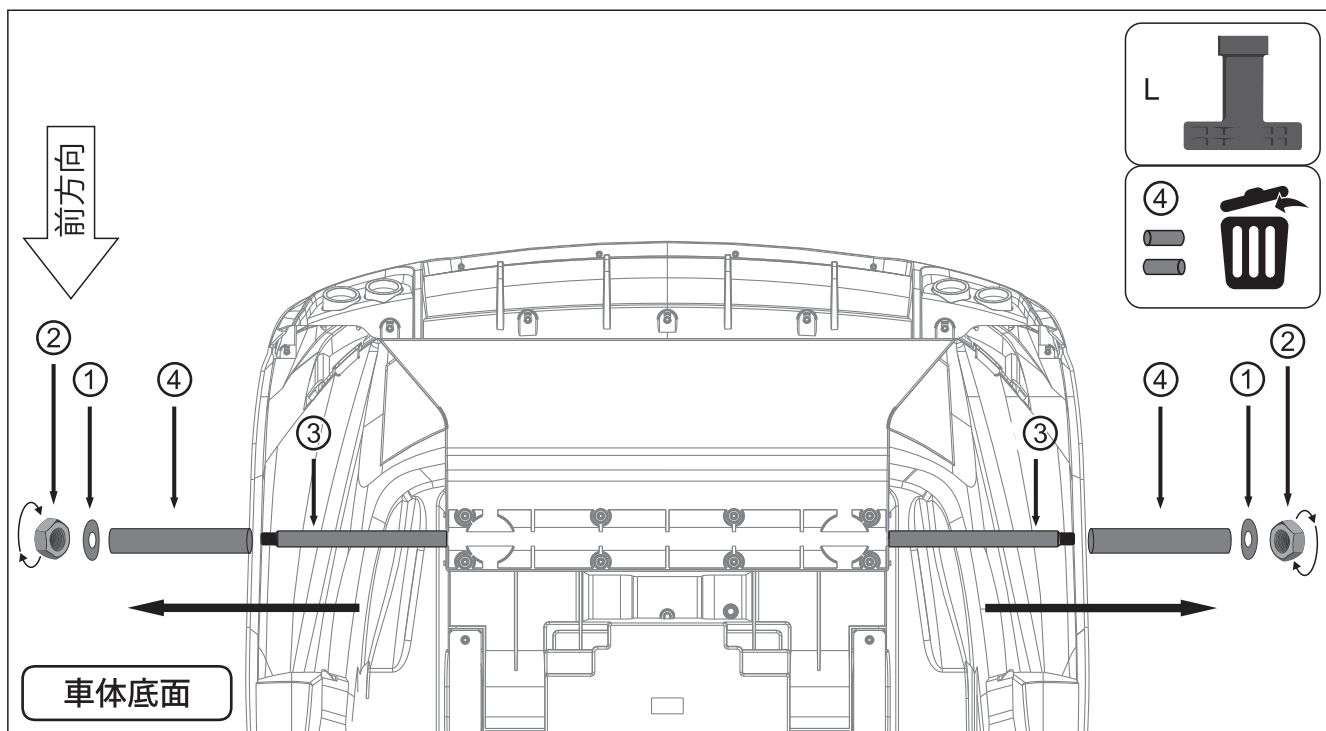
4-2. 作業の準備

- 車体を覆っているビニールを外し、車体以外の付属品を全て取り出してください。
- 車体をダンボールから取り出すときは、必ず大人の方二人でおこなってください。
- 組み立て中、車体を横倒しにしますので、破損しないように敷布団などのやわらかい上に車体を置いて、作業をおこなってください。



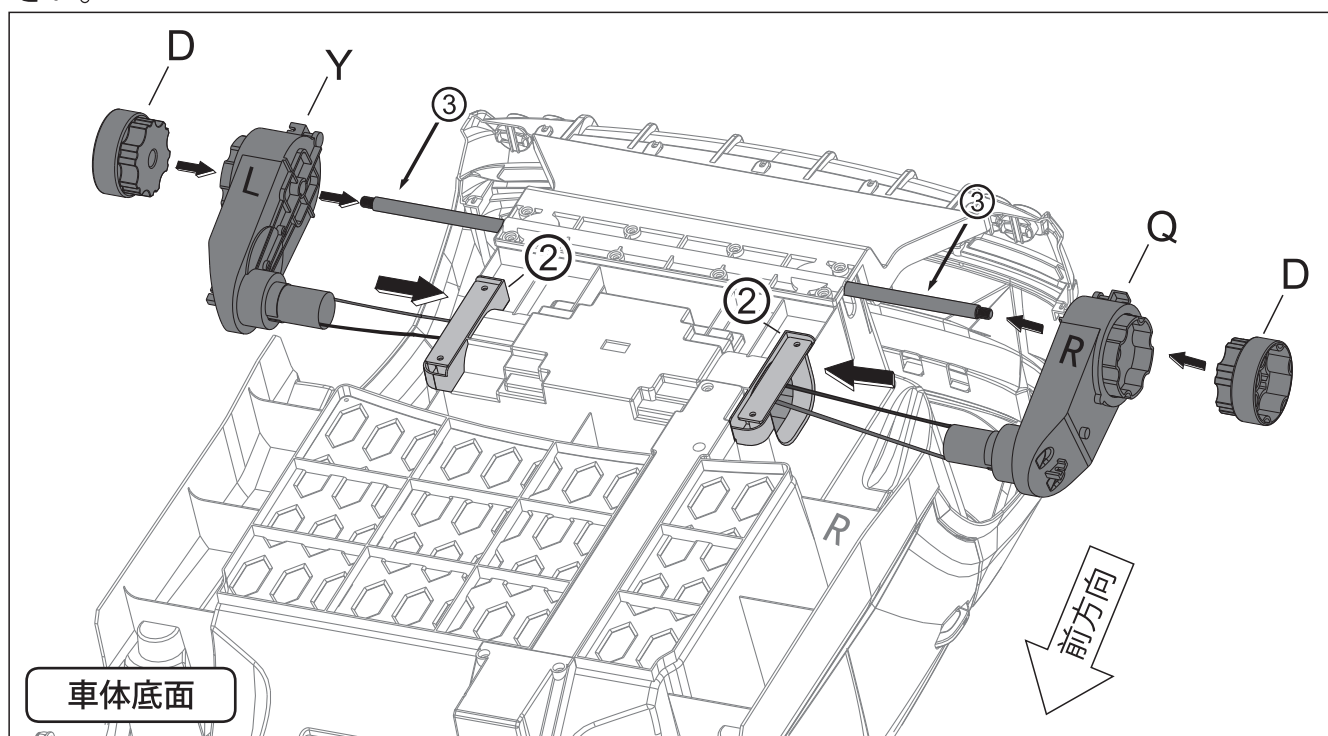
4. 組み立て手順(2)

4-3. 組立て作業



Step 1: 後輪シャフトからナットとワッシャーを外す

図を参考にして、後輪シャフト③についている、ナット②(タイヤレンチ【L】を使用)、ワッシャー①、保護カバー④を外してください。保護カバーは、使用しませんので、廃棄してください。

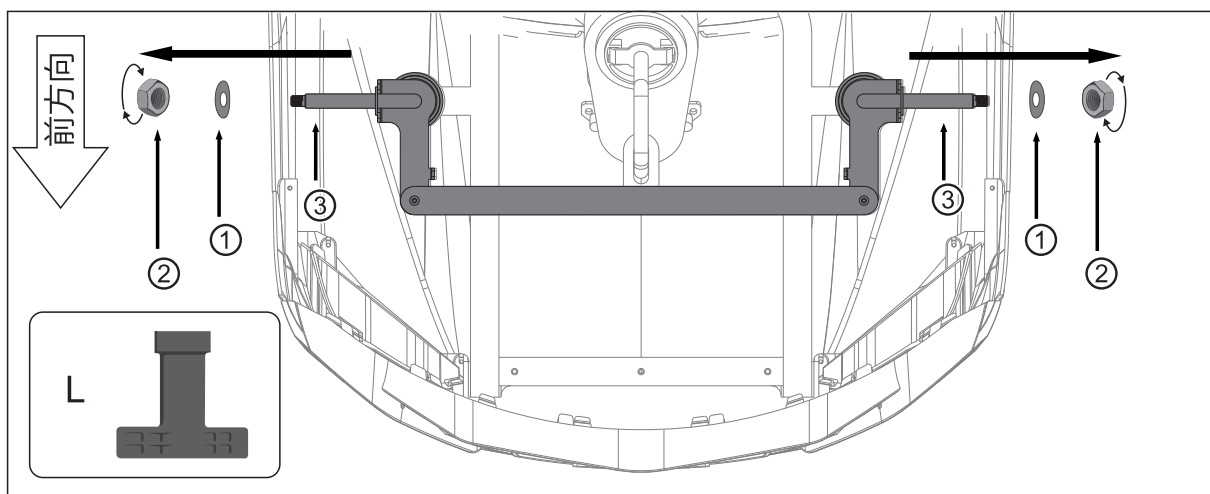


Step 2: モーターユニットの取付け

図を参考にして、モーターユニット【Y:左側(L) Q:右側(R)】を左右間違えないようにして後輪シャフト③にはめ込みます。その際にモーター部と配線を車体取付け穴②に入れてください。また、タイヤ取付け部品パーツ【D】をモーターユニットにはめます。

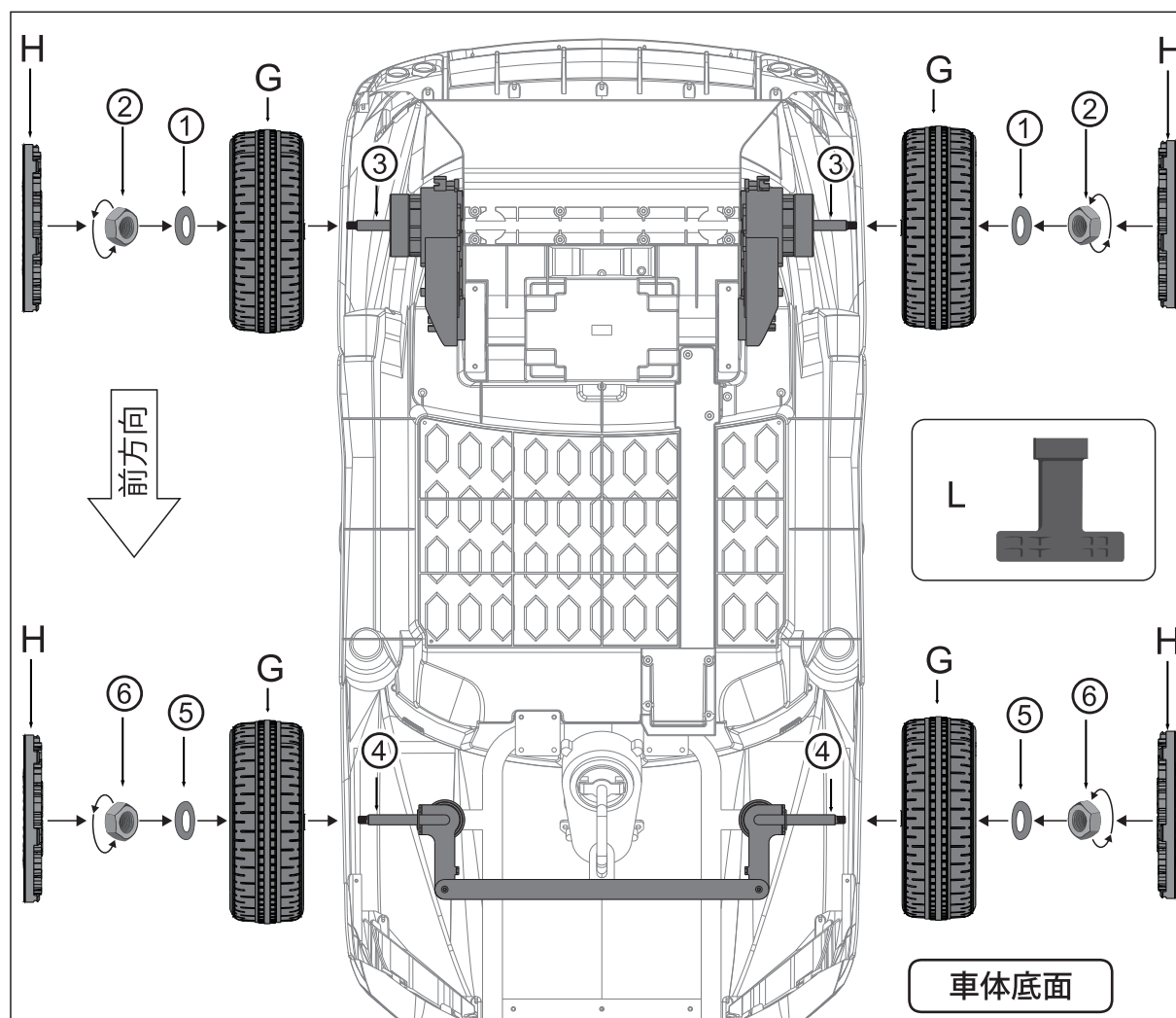
4. 組み立て手順(3)

4-3. 組立て作業



Step 3: 前輪シャフトからナットとワッシャーを外す

図を参考にして、前輪シャフト③についている、ナット②(タイヤレンチ【L】を使用)、ワッシャー①をはずしてください。

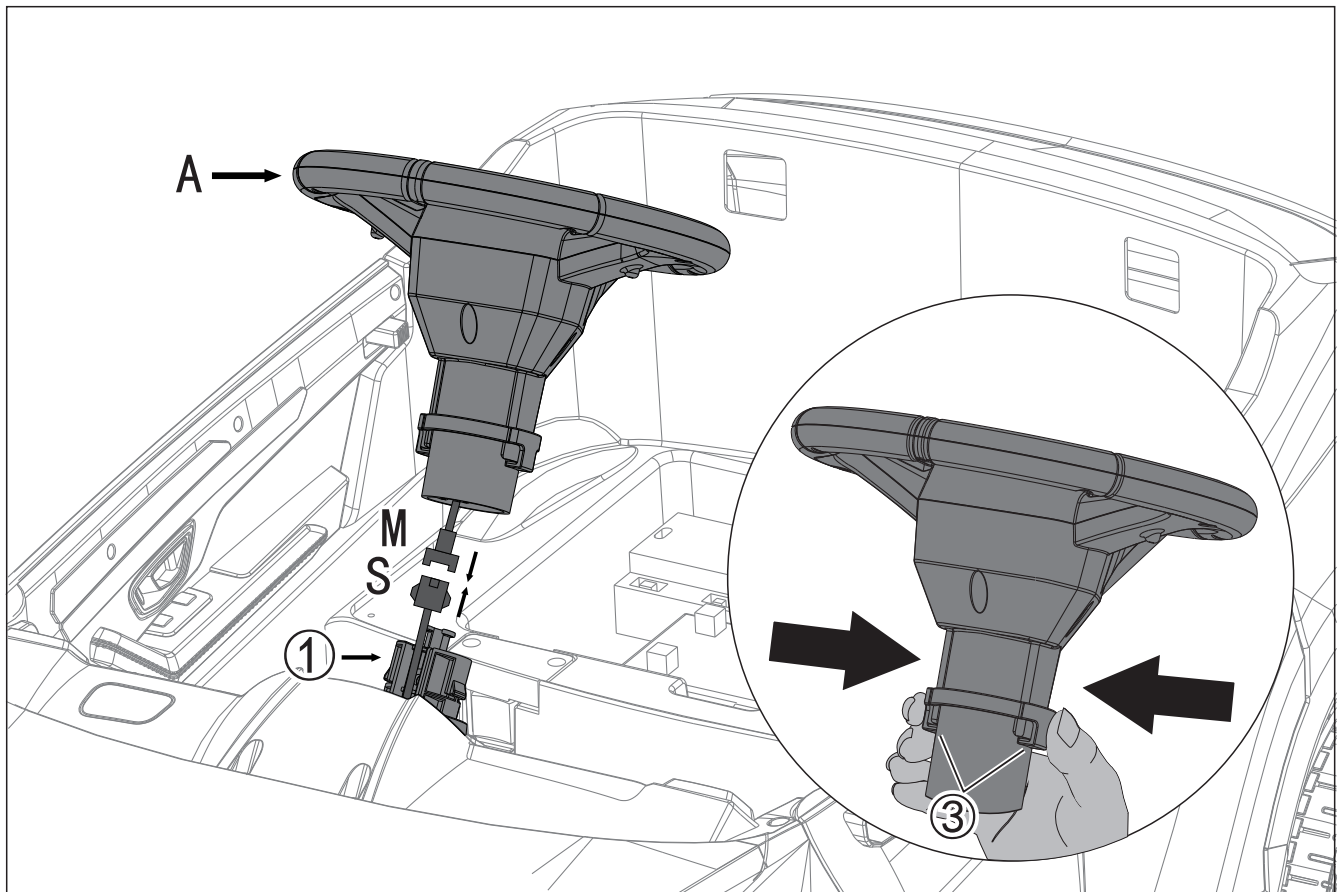


Step 4: タイヤの取付け

図を参考にして、タイヤ【G】の内側・外側に注意し、シャフト(③、④)に取付けてください。(後輪タイヤはモータユニットにはめ込んでください。)シャフトにワッシャー①⑤、ナット②⑥を取り付け、ナットをタイヤレンチ【P】で締めて固定します。最後にホイール【H】のツメをタイヤに合わせて、はめ込んで取付けてください。

4. 組み立て手順(4)

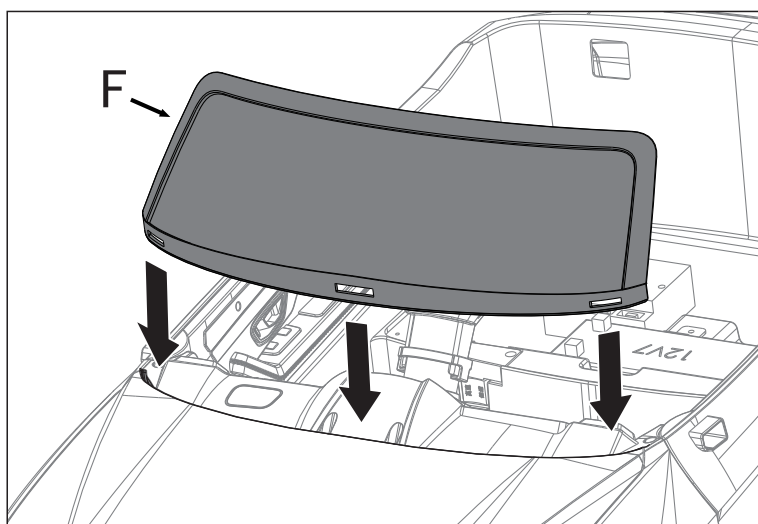
4-3. 組立て作業



Step 5: ハンドルの取付け

ハンドル【A】から出ている配線端子【M】を、車体側の端子【S】に接続します。

接続した配線端子がつぶれないように注意しながら、ハンドルシャフト①にハンドルをはめ込み、上から押して完全に取付けてください。その際に③の部分を押すようにしながら、はめ込んでください。

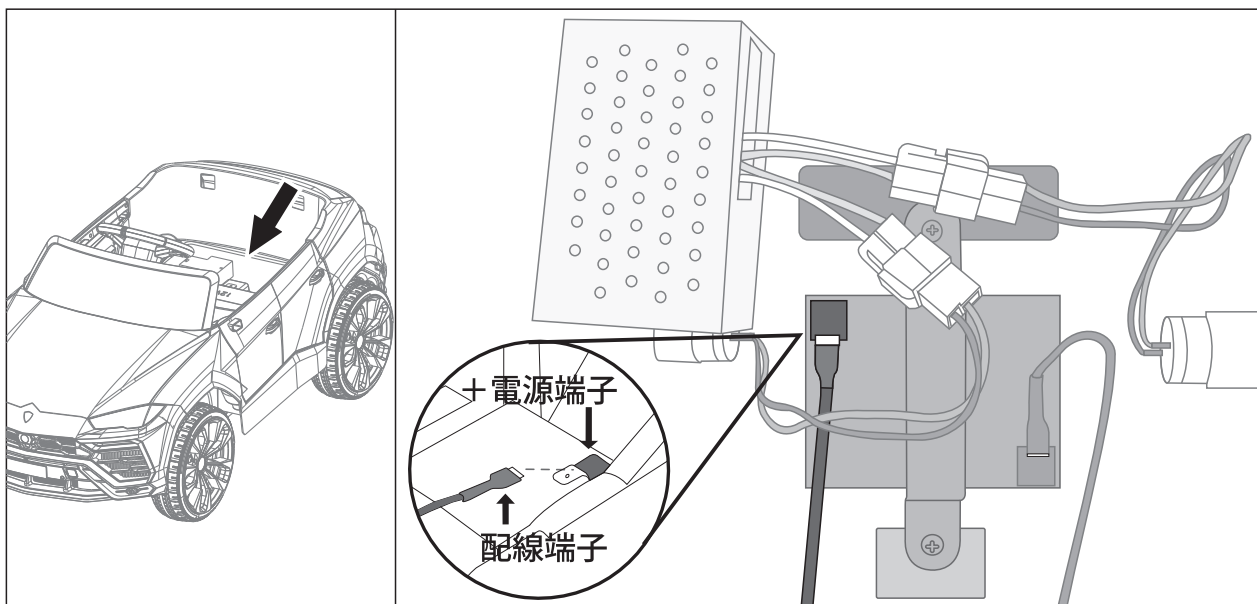


Step 6: フロントシールドの取付け

フロントシールド【F】を車体側の取り付け用のツメに合わせて、上から押して、完全にはめ込んでください。

4. 組み立て手順(5)

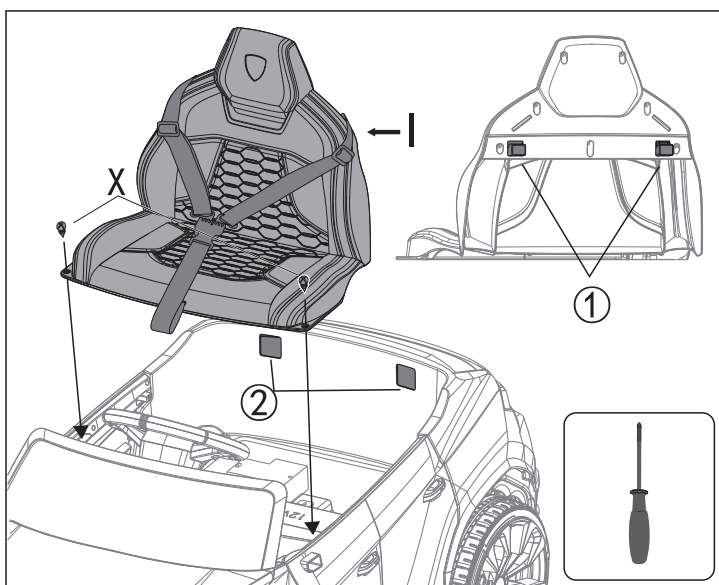
4-3. 組立て作業



Step 7: バッテリー端子の接続

シート取付け箇所にはバッテリーがあります。バッテリーの赤い端子(+極)のカバーを外し、余っている赤い配線を接続してください。(注意! お子様が触れないように、離れた場所で作業をしてください) ※販売店によっては、すでに接続をして出荷している場合もあります。

※制御ユニットは、入荷時期により仕様が異なる場合がございます。

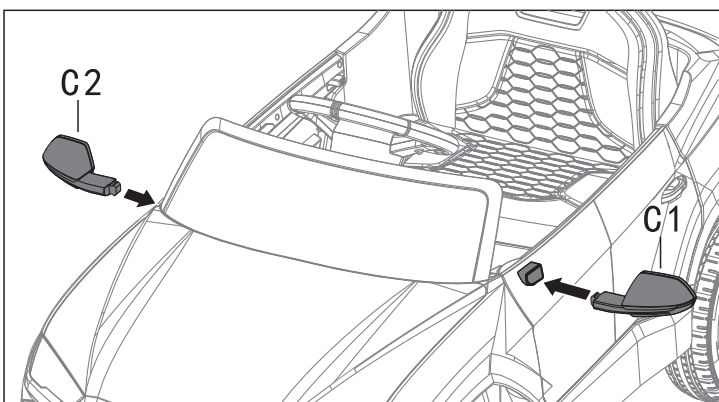


Step 8: シートの取付け

図に示すとおり、シート【1】の背面にツメ①があるので、車体の取付け穴②にはめ込みます。

シートの前側にネジ【X】を取付けて、プラスドライバーで締めて、固定してください。

※ネジは車体のネジ取付け穴についている場合があります。その際は一度外してから使用してください。



Step 9: ミラーの取付け

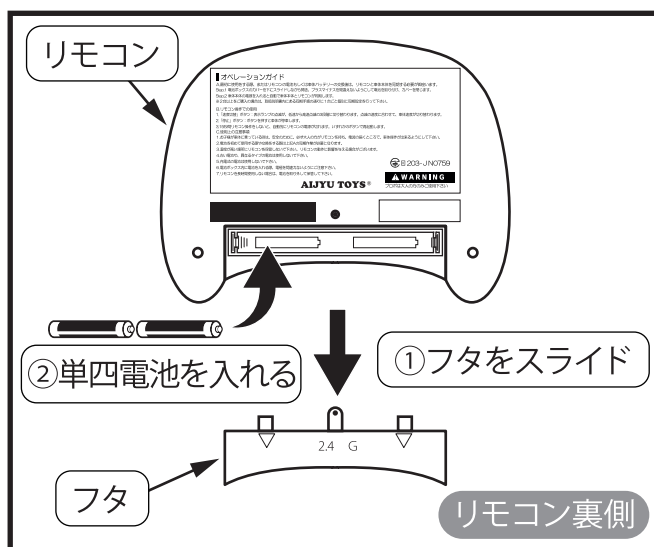
図に示すとおり、左右に注意して、ミラー【C】を車体の取付け穴に押しはめ込みます。

(C 1 : 右側、C 2 : 左側)

5. リモコンについて(1)

5-1. リモコン【E】に電池を入れる

- 単四電池を(別売り)を2本ご用意ください。
- ① フタを下にスライドするようにして外します。
- ② 電池BOXに単四電池を2本入れてください。※プラスとマイナスの方向を間違えないようにしてください。
- 電池を入れたら、再度フタをリモコンにはめてください。※ネジ止めなどはありません。



5-2. リモコンの同期方法

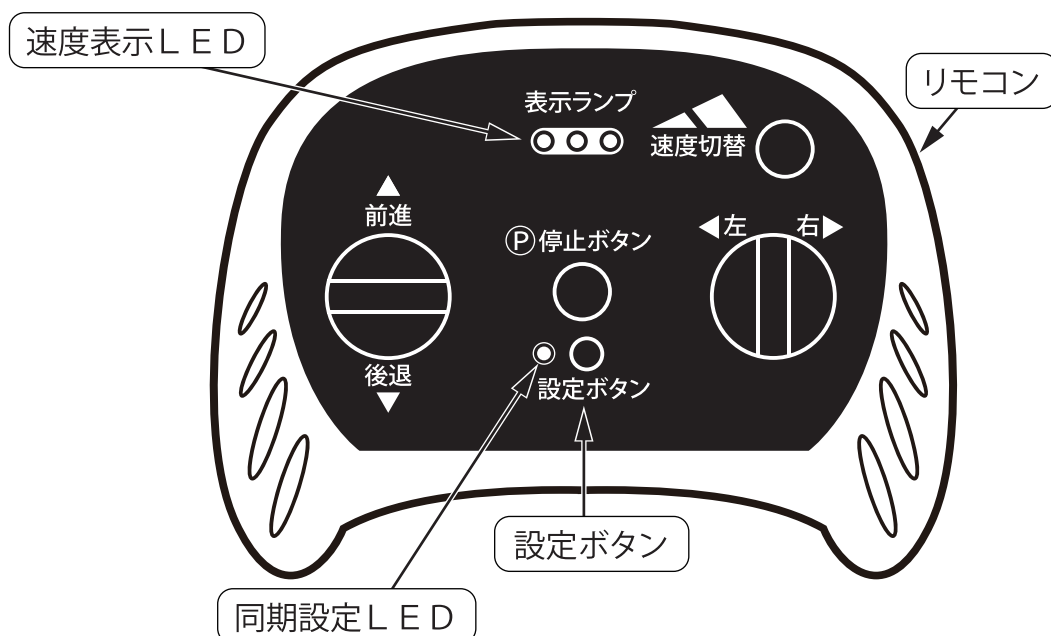
1台のみ利用の場合

- リモコンに電池を入れて、表面の速度表示ランプが点灯または点滅をしているとき、車体の始動ボタンを入ると、自動的に同期いたします。
- ※ リモコンと車体は2m以内に近づけておいてください。
- ※ 電池を入れた状態で表示ランプが消えてしまった場合、リモコンのボタンをどれか押すと、自動的に同期が開始されます。

複数台ご利用の場合

※それぞれのリモコンと車体で同期させる方法です。

- 同期は1台ずつおこなってください。
- 車体の電源はOFFにしておきます。
- リモコンの設定ボタンを同期設定LEDが点滅するまで長押しをして、この状態で車体の始動ボタンを押してください。
- 同期が成功すると、同期設定LEDが消灯して、リモコン操作ができるようになります。
- ※ 同期設定LEDが点滅したままの場合は失敗です。上記の作業を繰り返してください。



5. リモコンについて(2)

5-3. リモコンの操作方法

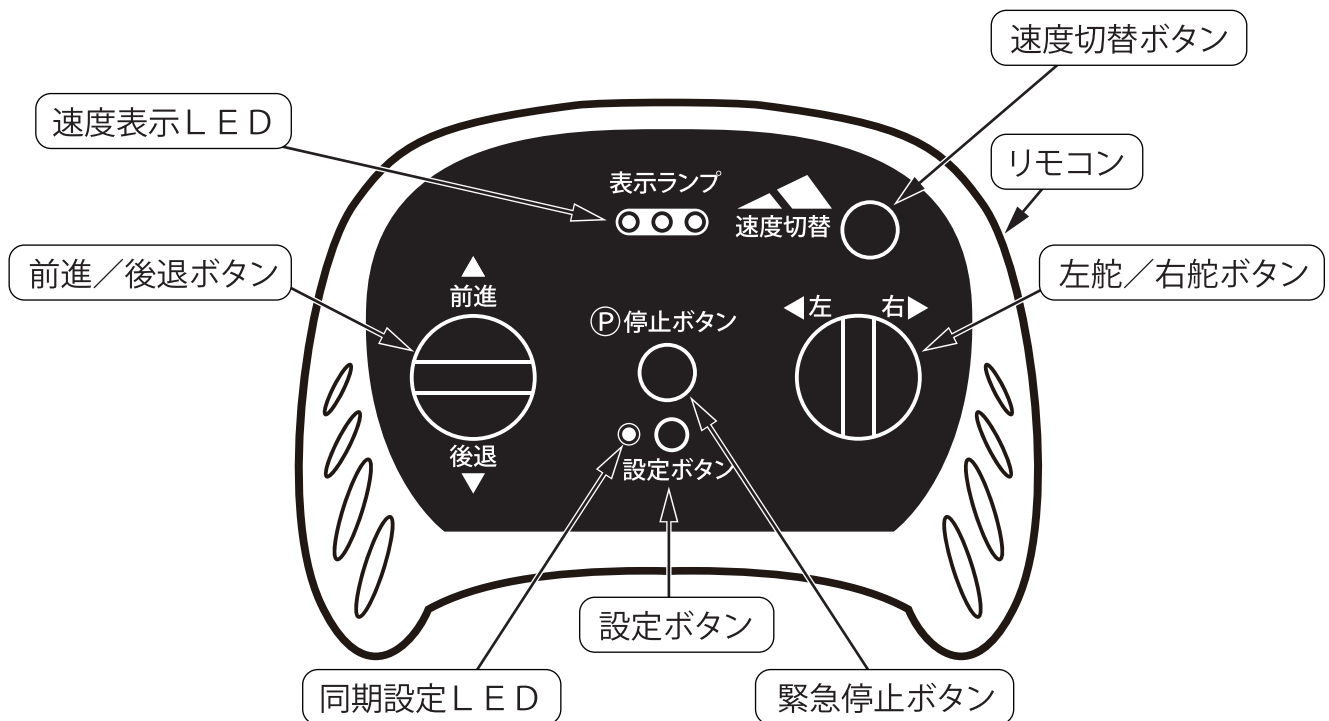
○ リモコンの電源ON／OFFについて

- ・ 電源ON: どれでも表面のボタンを押すと、電源が入ります。
- ・ 電源OFF: 何もボタンを押さないと、約30秒ほどで自動的に電源が切れます。

○ リモコンの操作について



リモコンで操作をされる場合は、必ず大人の方が操作してください。
リモコンの操作は、車体から5m以内でおこなってください。



前進/後退ボタン 車体を前進/後退させます。

左舵/右舵ボタン ボタンに応じてタイヤが左右に舵取りします。

速度切替ボタン ボタンを押すことで、速度が3段階に切り替わります。

速度表示LED 現在の速度状態が分かります。

フラッシュ点滅	: 高速スピード。
早い点滅	: 中速スピード。
ゆっくりな点滅	: 低速スピード。

緊急停止ボタン ボタンを押すことで、車体が緊急停止いたします。

※ **同期設定LED** , **設定ボタン** については、前ページの **5-2. リモコンの同期方法** をご参照ください。

6. 車体の操作方法(1)

6-1. 運転について

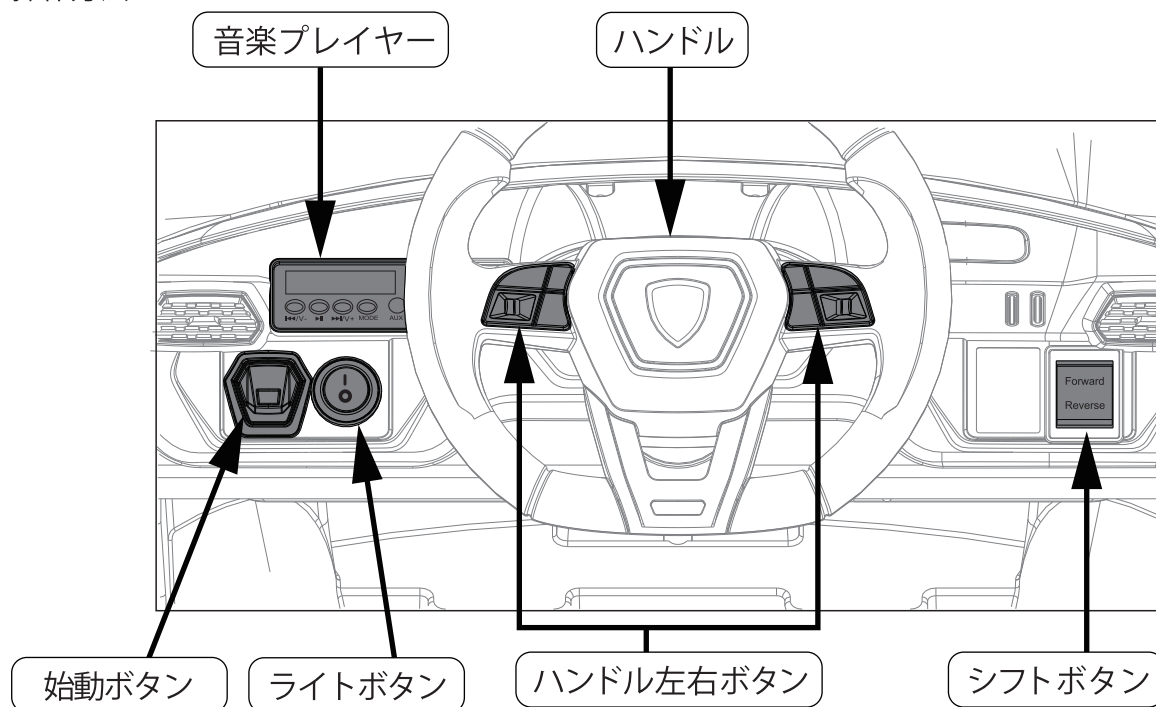
○ 運転場所について。※必ずお守りください。



注意!

運転操作は3歳以上が対象です。3歳以上でも運転に慣れないお子様は乗せないでください。
車の往来が無い、公道以外の安全な場所で使用ください。
必ず大人の方が付き添い、いつでも危険を回避できるような範囲にいてください。

操作方法



始動ボタン 押すことで車体が起動および電源が切れます。

ハンドル ハンドルを回すことで、前輪が左右に舵をきります。

シフトボタン 前側に倒す:アクセルを踏むと前進します。
後側に倒す:アクセルを踏むとバックします。



重要!

シフトレバーを切替るときは、車体を停止させてからおこなってください。
走行中に切り替えると、モーター・ギアボックスの破損の原因になります。

アクセルペダル 踏むことで車体が前進または後進します。

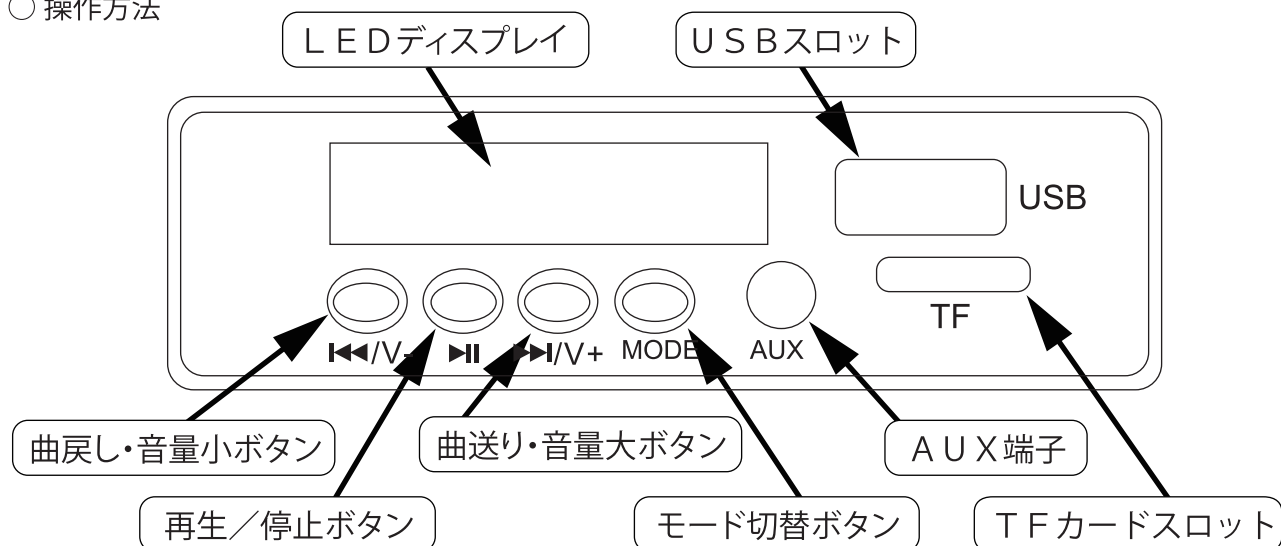
ハンドル左右ボタン 押すことで音楽又はホーンが鳴ります。

ライトボタン 前側に倒すことで、フロントと後部のライトが点灯します。

6. 車体の操作方法(2)

6-2. 音楽プレイヤー

○ 操作方法



USBスロット

音楽データのあったUSBフラッシュメモリを接続することで、車体から音楽を再生することができます。

※音楽データはMP3タイプのものに限りません。他は再生できません。

※音楽データはUSBフラッシュメモリの直下に入れてください。

TFカードスロット

音楽データのあったTFカードを接続することで、車体から音楽を再生することができます。

※再生の条件は、USBフラッシュメモリと同じです。

※TFカードは一般的に【microSDカード】と同じ媒体です。

AUX端子

スマートホンなどのヘッドホン端子からイヤホンコードをつなげて音楽を聴くことができます。

モード切替ボタン

USBフラッシュメモリとTFカードを切り替えます。
※スロット内にメディアが接続されていないと、反応しません。

曲送り・音量大ボタン

ボタンを押す：次の曲を再生します。
ボタンを長押し：音量が大きくなります。

曲戻し・音量小ボタン

ボタンを押す：再生中の音楽の頭だしをします。
ボタンを長押し：音量が小さくなります。

再生/停止ボタン

ボタンを押すことで、音楽の再生・停止をおこないます。



確認!

○ USBフラッシュメモリ又はTFカードで音楽が鳴らない場合以下をご確認ください。

・音楽データをフォルダ分けしていませんか? → メディアの直下に音楽データを保存してください。

・MP3以外のデータではありませんか?

→ MP4・WMAなどの音楽データは対応していません。MP3のデータに変換してください。

・スマートホンを直接接続していませんか?(スマートホン等の音楽はAUX端子からのみ聴けます)

→ 対応していません。USBフラッシュメモリを使用してください。

※上記を確認しても、再生しない場合は、ご使用しているUSBフラッシュメモリまたはTFカードを違うものにして試してください。メーカーの仕様で再生しない場合がございます。

○ 電圧表示について

車体を始動し、LEDディスプレイに表示される数値は電圧(V)になります。バッテリー満充電後は、12V以上になります。走行中に電圧は変動しますが、停止中に12V以下になると充電が必要になります。

LEDディスプレイ

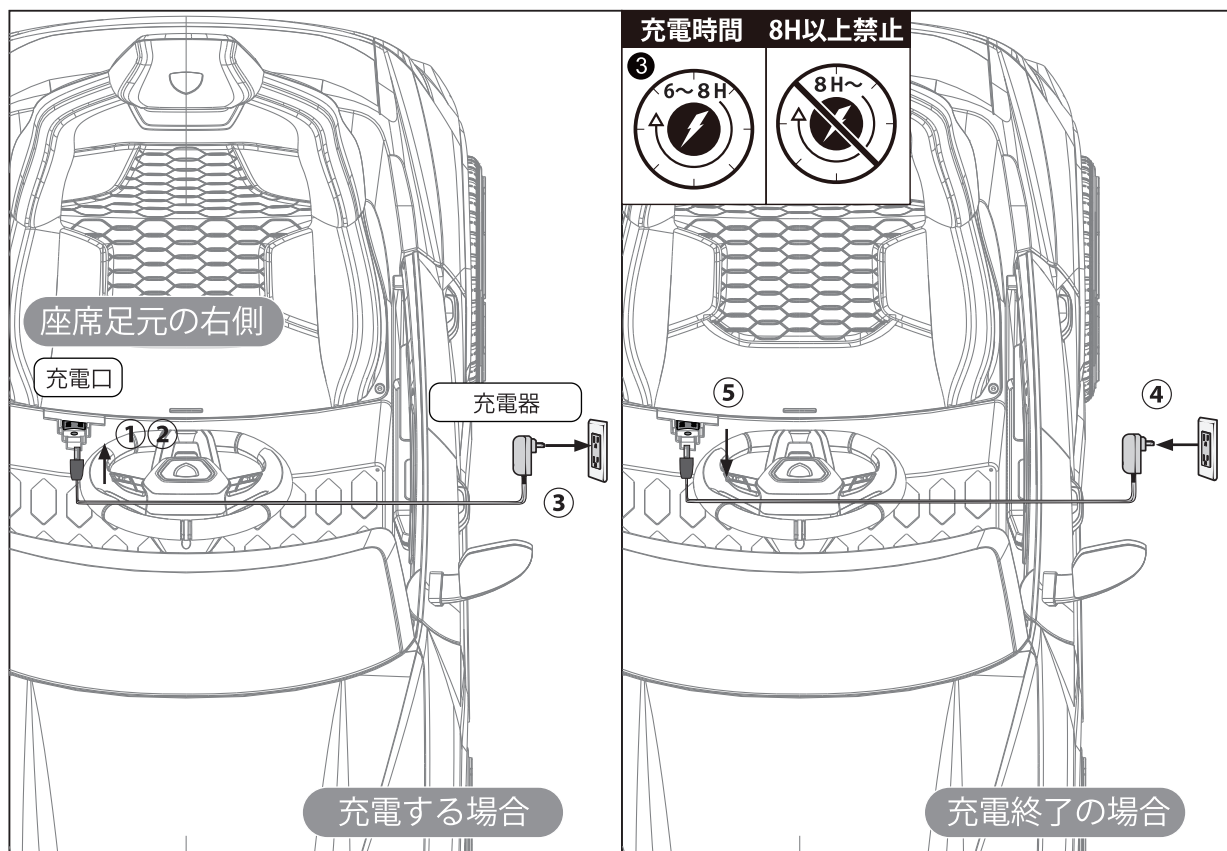


7. 充電方法

7-1. 充電の仕方 充電器【T】を使用します。

○ 充電方法 【注意!】必ず以下の手順どおりに充電してください。

- ① 座席足元右の充電穴に充電器【L】の端子を挿し込みます。
- ② 充電器の端子を挿し込む際に、ちゃんと奥まで挿し込まれているか確認をしてください。
- ③ 充電器のプラグを家庭用100Vコンセントに挿してください。



重要

充電中は車体の電源がはいりません。

○ 充電時間について

- ・ バッテリーの残量がゼロの状態から約6～8時間となります。充電が始まると充電器のLEDランプが赤に変わります。
※ランプが点灯するまで数十秒かかる場合があります。

充電時間

残量ゼロから約6～8時間



ご注意! ※必ずお守りください。

- 充電は必ず大人の方がおこなってください。
- 日陰の涼しい場所で充電してください。日照りの場所や気温の高い場所で充電をしないでください。
- 規定の充電時間(約6～8時間)をお守りください。規定より長く充電をすると、過充電となり、急激な劣化、内部ガスが発生してバッテリーが破損するなど故障の原因となります。
※充電器のLEDランプが赤の表示でも規定の時間を超えて充電しないでください。
- 家庭用100Vコンセントをご使用ください。※200Vはご使用できません。
- 他メーカーのバッテリー及び充電器を使用しないでください。車体の破損や過熱などにより火災の原因になるなど大変危険です。
- 充電器およびバッテリーを分解しないでください。感電やショートによる火災の発生など大変危険です。
- 長期間ご使用されない場合は、最低でも月に1度、充電をおこなってください。過放電となりバッテリーが急激に劣化します。

8. 故障かな?と思ったら

こんなとき(症状)	調べるところ	直しかた
本体が動かない	平坦な場所で走行していますか。	平坦な場所に移動するか、小石などタイヤ下に噛んでいないか確認してください。
	荷重制限はオーバーしていませんか。	全ての車体にかかる積載荷重が30kgを超えないようにしてください。
	充電はされていますか。	車体を始動させて、バッテリー電圧表示計の電圧を確認してください。電池マークの残量が減っている場合、充電をしてください。
	充電器の端子が車体に接続されていませんか。	充電器の端子が車体に接続されていると動作しません。取り外してください。
	電気の配線は問題ありませんか。	シート下のバッテリーの配線など、バッテリー端子以外の各配線端子が確実に接続されているか、確認してください。※バッテリー付近の制御ユニットやモーターユニットにつながる端子など確認してください。 → 配線端子同士を手で挿し込みなおしてください。 → 配線端子から配線がゆるんでいないか手で配線を軽くひっぱってください。抜けるようであれば、配線を端子に挿し込んでください。
リモコン操作ができない、途切れる	電池のプラスマイナスが間違っていないですか。	電池の電極を確認し、正しく入れて下さい。
	コントローラーの電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。
	近くに妨害電波が存在していませんか。	場所を変えていただくか、日時を改めて、ご使用下さい。
	リモコンの設定が間違っていないですか？	5-2.リモコンの同期方法をご参照の上、再設定をおこなってください。
動きが鈍い	バッテリーが消耗していませんか。	充電して下さい。
	荷重制限はオーバーしていませんか。	全ての車体にかかる積載荷重が30kgを超えないようにして下さい。
充電ができない	バッテリーの寿命ではありませんか？	使用を中止して、販売店にご相談下さい。
	充電器のコネクターが外れていませんか。	充電器などのコネクターを確認して、確実に接続して下さい。
	充電器のコードが断線していませんか。	使用を中止して、販売店にご相談下さい。

AIJYU TOYS

【配送ダンボール】保存のお願い。

お届け時のダンボール箱は、初期不良対応や万が一の修理を依頼するのに備えて、最低一週間は捨てないようお願いいたします。

ダンボールを捨ててしまった場合は、初期不良の場合でも配送用ダンボールは有料となります。
(ダンボール代金3,000円)

※現在宅配業者は、梱包されていない商品は配送してもらえませんので、お守りいただけますようお願い申し上げます。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- ・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- ・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

修理・取扱い・手入れなどはまず、お買い上げの販売店へご相談ください。